

加西市議会だより

No.177

2023

11

丸会小3年生、柿の収穫体験
実りの秋、喜びであふれる

令和4年度決算9議案を認定 (P6~7)

- 9月定例会
- ・議案審議レポート (P2~5)
 - ・議決結果 (P8)
 - ・一般質問 (P9~15)





※ 議案は、本会議での質疑の後、所管の常任委員会に付託して慎重に審議しました。
主な議案と審議の経過について紹介します。

令和6年度から 都市計画税を廃止

議案第43号 加西市税条例の一部を改正
する条例の制定について

概要 これまで都市計画税を財源に実施してきた都市計画事業又は土地区画整理事業について、現在は市街地の都市基盤施設が一定整備されている。また、同じ市街化区域内においても事業の実施に差異が生じている。市街化区域の都市基盤整備の受益は市全体に及ぶものであり、税負担の公平性の観点から都市計画税を令和6年4月1日から廃止するもの。

質疑

問 現在の都市計画事業の整備状況は。

答 都市計画事業のうち、都市計画道路の整備率は70.6%、未整備の大部分は県道です。また、市街化区域内の公共下水道の普及率は99.9%です。雨水整備率は78.9%、中野地区の雨水整備が当面続く状況です。

土地区画整理事業は5地区、市街地再開発事業は1地区の整備をこれまで実施しています。今後、土地区画整理事業が実施可能な大規模な未利用地が見当たらない状況で、都市計画事業として行うべき市街化区域の都市基盤の整備は、一定のめどが立っていると考えます。

問 財源に限られることによる事業の縮小が懸念されるが、これまでどおり計画的にまちづくりが実施されるのか。

答 令和5年3月に改定した都市計画マスタープランに沿って、地域に限定することなく必要な整備を行うことができるよう、国・県による補助金や交付金等を活用していきます。また、交付税措置がある起債を活用するなど財源を確保し、事業実施計画に基づいて事業を実施したいと考えます。

今後、市が実施する大規模な都市計画事業の予定もないことから、都市計画税の減収分の影響はほとんどないものと考えます。

問 加西市は市街化区域と市街化調整区域の線引き廃止に向けて取り組んでおり、都市計画税の廃止は線引き廃止に合わせて実施してはどうか。

答 都市計画事業債の償還は今後減少していきます。また、令和5年度は都市計画税が事業費を若干上回ると見込んでいます。このような状況から、線引き廃止を待つのではなく、今後は一般財源を活用して事業を継続したいと考えます。

問 都市計画事業に一般財源を充てることは、市内全域の市民が都市計画事業の負担をすることになる。税負担の公平性は保たれるのか。

答 (市長) これまで、都市計画税の用途は主に下水道整備及び土地区画整理と説明してきました。市内全域で下水道が整備され、また道路整備も進んでいます。市街化区域とその他地域との利便性に差はなく、都市計画税の用途について明確な説明ができない状況になっています。区画整理により固定資産税は上がっており、加えて都市計画税を負担することは、税負担の公平性の均衡が保たれていないと考えます。また、受益の公平性を担保することも必要です。

討論

賛成

・都市計画税を財源とする事業はほぼ終了し、目的税としての役割はおおむね終えている。また、課税対象区域においても、整備済みと未整備地域で税の不公平感が出ている状況があり、都市計画税は速やかに廃止するのが望ましい。(本会議)

・市街化区域は土地の評価額も高く、それに応じた固定資産税を負担している。また、公共下水の普及率はほぼ100%であり、都市計画税の目的は一定達成している。廃止に伴う減収は、予算の精査及び有効活用で総合的に対応すべきものとする。(本会議)

反対

・雨水整備事業債等の返済や、減収による今後の事業の財源確保への影響など不安要素が考えられる。また、現在進めている線引き廃止が実施される時期に行っても遅くはない。減税の対象外の地域も多く加西市全体の状況を考えていただきたい。(本会議)

・子育て世代から、将来的にしわ寄せがあるのではと心配の声を聞く。地域からの不安の声を傾け、再度、廃止のタイミングを検討していただきたい。(本会議)

議決結果

賛成8、反対6の
賛成多数で原案可決



加西病院の医師確保に向け 奨学金制度を創設

議案第 42 号 加西市医師確保奨学金貸与
条例の制定について

概要 加西病院の医師の確保を図るため、将来、加西病院に勤務する意思を有する医学生に対し、修学等に必要資金を貸し付けるもの。

対象者	加西病院に勤務する意思を有する医学生
奨学金額	月額 30 万円（別途入学支度金 100 万円）
貸付期間	最長 6 年間
債務免除	加西病院に常勤の医師として勤務した年数に応じる

質疑

問 対象者の条件は。

答 将来、加西病院に勤務する意思がある医学生であれば、住所や出身は問いません。新入生に加えて在学中の医学生も対象としています。

問 選考はどのように行うのか。

答 加西病院と協議し、選考委員会で決定する予定です。書類審査に加え、オンライン等も活用して人物像が把握できるよう検討していきます。

問 先行実施の自治体における成果は。

答 県内では 8 自治体で同等の奨学金制度を設けており、一定の成果が出ている場合が多いと考えます。

問 奨学金額の設定根拠は。

答 県内では月額 20 万円、入学支度金 100 万円、また全国的には月額 30 万円、支度金 100 万円が最高額となっています。金額設定に当たっては先行事例を踏まえ、また、特に私学では年間 600 万円程度の費用となること等を総合的に判断しました。

問 奨学金が全額免除になる基準は。

答 臨床研修期間を除き、加西病院での常勤の勤務が 6 年以上であれば全額免除となります。

討論

賛成

・医師確保は病院において最大の課題であり、経営の根幹に関わる問題である。条例制定により加西病院の医師確保の課題が全て解決できるものではないが、特に救急対応を担う若手医師の確保において期待できる。数の確保に加え質の確保も重要であることから、選考に当たっては人物評価も行っていただきたい。（本会議）

議決結果

全会一致で原案可決



加西病院での医療事故 について和解が成立

議案第 48 号 和解及び損害賠償の額を定めることについて

概要 令和 2 年 3 月 25 日に加西病院で発生した事故について、和解し、損害賠償の額を定めるもの。

質疑

問 事故後の病院の対応に問題はなかったのか。

答 事故発生後に院内の医療安全対策委員会を開催し、事故の検証を行うとともに院内で情報共有を図り、ご家族に対する説明など必要な対応を行いました。また、事案発生後すぐに顧問弁護士に連絡し、経過報告をしています。ご遺族からカルテ開示の請求があった際にも顧問弁護士と相談し、積極的に資料を開示しています。

問 医療安全対策委員会の検証結果は。

答 当該患者に対する治療の処置は適切であったが、その後に発生した合併症に対する対応の遅れが死

亡の原因であるという見解です。

問 損害賠償請求が提出される前に和解の方向で進めるべきではなかったのか。

答 顧問弁護士との相談においても、病院の処置に対する判断ミスは免れないとの見解でしたが、治療内容は適切だったこと等の主張はしていかなければならないということから、訴訟に至りました。

討論

賛成

・命を預かる現場として、今後二度と発生しないように対策を講じ、信頼回復に努めていただきたい。（本会議）

議決結果

全会一致で原案可決

主要幹線市道の道路修繕や スマート農機導入補助など

議案第 49 号 令和 5 年度加西市一般会計補正予算（第 4 号）について

質 疑

文化活動推進委託料

200 万円の増

問 芸術文化推進事業の委託料増額の理由は。

答 加西能が来年度以降中止となるため、こども狂言塾の最終公演を令和 6 年 3 月 16 日に開催します。これまで指導していただいた野村萬齋先生、高野和憲先生並びに内藤連先生も出演され、仕上げの稽古もしていただけることになっています。

農業生産コスト低減緊急対策事業

5,573 万 1,000 円の増

問 補助金の増額の内容は。

答 肥料高騰等の影響を受ける農業経営体に対し、農業用ドローンやリモコン草刈り機などスマート農機の導入経費を補助し、生産コストの低減を図ります。令和 6 年度末までに地域計画を策定して人・農地プランに位置づけられ、費用対策に取り組むことが条件です。

道路維持費

3 億円の増

問 道路修繕箇所など詳細について。

答 特に舗装面の痛みが激しい 1・2 級の主要幹線市道 9 か所、総延長約 6.8 キロメートルの舗装の修繕を計画しています。また、外側線の引き直しや、地元から要望が出ている小規模修繕にも取り組みたいと考えています。

スクールサポーター事業

1,072 万 2,000 円の増

問 スクールアシスタントの配置や業務内容は。

答 スクールアシスタントは、学級担任等のアシスタント的な役割を主な業務とし、個別の支援が必要な児童・生徒のサポートや生徒指導等の充実を図るために各校に配置しています。今回は新たに各校 1 名以上の配置を計画しています。教師の負担を軽減し、ゆとりを持って日々の授業改善や学級運営に尽力できるようにすることにより、児童・生徒の安定した学校生活の保障や学力向上を目指します。

学校給食費

37 万 1,000 円の増

問 企業からの寄附金を播磨農業高校からの米購入に充て、オーガニックの日にあわせて、オーガニック給食として提供されるのか。

答 寄附された企業は、子育て支援の給食費の無償化に役立ててほしいとの意向であったことから、12 月 8 日のオーガニックの日に、ご飯だけでも 100%オーガニック米として提供したいと考えます。

討 論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



基金を活用して 保険料の引下げを

議案第 51 号 令和 5 年度加西市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）について

質 疑

問 基金積立金について。

答 令和 4 年度介護保険特別会計からの繰越金約 1 億 7,200 万円のうち、返還金を差し引いた残り約 6,000 万円を介護給付費準備基金に積み立てるものです。この基金は、第 1 号被保険者の保険料のうち介護給付費等に充てた 23%分の余剰分を積み立て、3 年を計画期間としている介護保険事業計画において、保険料算定の際に一定額を取り崩し、負担軽減を図るよう運用しています。

問 基金を活用した保険料引下げなど、市民の負担軽減はできないのか。

答 今年度は、令和 6 年度から 3 年間の保険料を設定する介護保険事業計画の策定年度となっています。令和 4 年度末の基金約 4 億 1,700 万円に今回の積立金を加えた 4 億 7,700 万円全てを、保険料軽減に充当することはできませんが、必要なサービスを安定して受けていただきながら、第 1 号被保険者の介護保険料の負担が少しでも軽くなるよう、基金を活用した介護保険料の算定をしたいと考えます。

討 論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



新病院の建設計画の 変更に伴う減額補正

議案第 52 号 令和 5 年度加西市病院事業
会計補正予算（第 1 号）に
ついて

質 疑

問 医業費用の経費 970 万円について。

答 新病院の計画見直しに関わる基本構想、基本計画策定の委託料です。策定は 15 か月間を想定しており、早急に取りかかる必要があるため、令和 5 年 10 月に契約、着手、そして令和 6 年 12 月の完成を見込んでいます。2 か年にわたる契約で、全体を 2,420 万円程度と見積もっています。

問 新病院基本構想及び基本計画策定の委託先はどのように選定されるのか。

答 新病院建設のこれまでの計画策定において、開院支援業務を実施した業者、及び実施設計を担当した業者に合同で依頼する予定です。前計画の中で院内のヒアリングを直接行い、現状把握と設計要求基準の把握、業務内容を十分に理解できており、建物の適正規格を正確に提案することが期待されます。これにより、新しい基本構想、基本計画の策定もスピードアップが図られると考えます。

問 企業債及び一般会計補助金の減額の内容は。

答 新病院建設計画の変更に伴い、新病院の建設に係る建築物耐震対策補助金の交付決定が取消しとなり、一般会計補助金が減額となります。

今年度は、実施設計業務費用として全体で 1 億 4,500 万円を見込んでいましたが、建築物耐震対策の補助金約 6,000 万円に加え、さらに起債を受けることができなくなります。費用の 1 億 4,500 万円全額を今年度の留保資金から持ち出すこととなります。

討 論

なし

議決結果

全会一致で原案可決



市外小中学校に通う児童生徒 への給食費助成 及び 水道基本料金の減免延長

議案第 63 号 令和 5 年度加西市一般会計補
正予算（第 5 号）について

質 疑

問 市外の小中学校に通う児童生徒に対する給食費の助成について、2 学期からの助成とする理由は。

答 市外の小中学校へ通う児童生徒の保護者にも同様に、子育て支援施策として給食の無償化を享受する必要があると考え、実施するものです。制度を新設して実施するもので、2 学期からの給食費を無償としたいと考えます。

問 来年度以降の実施の予定は。

答 来年度以降も、市内の学校給食の無償化を拡充する形で、市外に通う方へも実施していきたいと考えています。



討 論

賛成

・給食費の無償化は人口増施策であり、加西市はここまでやるというインパクトが大きく、人口増施策として一段と効果が上がると考える。また、物価全体が高騰し家計を圧迫している状況において、水道料金の減免延長は、市民の家計を安定させることにつながる。（本会議）

議決結果

賛成 13、反対 1 の賛成多数で原案可決



令和4年度決算9議案を認定

実質収支額は
6億811万7千円の黒字

議案第53号 令和4年度加西市一般会計
の決算認定について

質 疑

子育て施策のPR

問 子育て応援施策等のプロモーション業務の内容と成果は。

答 子育て応援5つの無料化や各種子育て施策を効果的にPRし、市の認知度やイメージを向上させて転入促進や転出抑制を図るため、チラシやパンフレットの作成、ウェブ広告の配信を行いました。転入者アンケートでは、5つの無料化が転入の決め手やきっかけとなったと答えた方が約33%、5つの無料化を知っていたと答えた方が約41%と、子育て施策の周知が進んでいます。

給食費

問 教育費が令和3年度比で21.1%、約4億2,200万円増加している理由は。

答 給食費の公会計化により給食会計が一般会計に組み込まれたこと、オンライン遠隔授業用機器購入などによる増加です。給食費は無償化以前は1食当たり中学生270円、小学生240円でしたが、令和4年度決算では小中学生合わせて1食当たり273円となり、物価高騰が影響しています。



スマート図書館

問 スマート図書館システムの構築と効果は。

答 公立図書館システムの機能強化、学校図書館システムの整備及び電子図書館システムの導入を行いました。市内26校の図書館の蔵書をデータベース化し、各学校のデータを児童生徒も利用することが可能です。また、来館せずに利用者登録ができたり、借りた本をウェブ上で記録管理し、自分で確認することもできます。



sora かせい

問 「sora かせい」の指定管理業務委託に関する評価は。

答 来場者は12万人を超え、物販の売上は2,170万円弱で、目標額を上回っています。しかし、市内観光施設への周遊や地域団体とのイベント開催などを行ってほしいと考えており、指定管理者に要望しています。また、sora かせいのネームバリューを活用したサービスや商品づくりに関しても指示しています。



地域主体型交通

問 公共交通活性化協議会から地域主体型交通の運行に対する補助形態について。

答 地域主体型交通の運行が3地区と増え、また、他の地区でも導入が検討されており、重要な地域内交通となっています。補助金額の推移を見る上においても、市から直接補助する形態が望ましいと考えています。



防犯カメラ

問 市民の安全安心のために、防犯カメラをどれくらい設置する必要があると考えているか。

答 現在は地元要望による設置と警察との協議による設置としているため、必要台数の算出は困難です。防犯カメラの機能向上のため、市によるセンター管理方式への切替えについて検討しているところです。

運動ポイント事業

問 登録者を増やすための今後の展開は。

答 ポイントをねっぴ〜ペイに移行したことに加え、体組成計の設置を市内4か所へ増やしたことにより、20代から40代の登録者が増加しています。また、1ポイントからポイントの交換が可能となり、交換率も27%程度から51.3%に伸びています。



ア ス も

問 テレワークセンターの利用状況は。

答 視察の増加による宣伝効果と合わせて、様々な団体の働き方改革による会議室の利用やイベントの実施にテレワークセンターが使用され、コミュニティの場が醸成されつつあります。



農産物加工品等の開発

問 農産物加工品等開発事業補助金の募集方法や対象品目は。

答 窓口での説明に加え、広報紙を活用して募集しました。酒米の規格外となっ中米の米粉を使用した加工品の開発、餃子に使用するにんにくの試験栽培やパッケージデザインの補助を行いました。



空き家活用促進

問 県条例による空き家等活用促進特別区域の指定の現在の状況は。

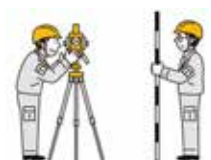
答 令和5年9月12日付で、宇仁地区が兵庫県条例に基づく空き家等活用促進特別区域に指定されています。今後は過去に調査した空き家のデータを活用し、空き家の登録を促したいと考えます。



地籍調査

問 地籍調査の進捗状況は。

答 調査済は35地区、進捗率37.01%です。待機地区が60地区ありますが、国の補助総額に対して全国の自治体が殺到しており、要求の7割程度しか交付されない状況です。1地区完了に5年程度を要し、年2地区ずつ取り組んでいます。常時10地区程度を抱えており、人員数を見ながら、調査地区に隣接する地区も一緒に実施するなど要望に応えたいと考えます。



太陽光発電施設

問 太陽光発電施設が増加し、山の斜面にも乱立している現状に対する対策は。

答 ゾーニングにより環境保全エリアと抑制エリアを設定し、自然環境に配慮するよう調整を行っています。さらに、既存の太陽光発電施設も含め、事業者に対する規制や維持管理の方法等について条例化を検討しています。



討 論

賛成

・子育て、教育、起業創業、観光、脱炭素などのSDGs、移住定住、ふるさと納税など、各分野において目的に向けて着々と取り組まれている。時代に先駆け、これまで加西市になかった可能性にも果敢に挑戦され、積み重ねてきた努力が地域内外の方々に評価され、効果も出てきている。(本会議)

反対

・道の駅基本構想は、費用対効果を度外視した、あまりにも抽象的な提案であり、加西市の将来に大きな負担を強いることになる。(本会議)
・観光イベント、移住施策、若者施策、配慮に欠ける無料化、未来型児童館構想、播磨国風土記など多くの事業に対し、集客はもちろん、行政効果や経済効果などが出ていると思えない。(本会議)

議決結果

賛成10、反対4の賛成多数で原案認定

総事業収支は
約9億1,000万円の純利益

議案第61号 令和4年度加西市病院事業
会計の決算認定について

質 疑

問 診療材料費や経費の減少理由は。

答 コロナ禍で手術件数が減少したことに加え、内科医の減によるカテーテル手術の減少、及び外科や整形外科の手術数の減少により診療材料費が下がっています。また、収支が全体的に縮小傾向にあり、経費についても減少しています。

問 入院単価におけるコロナ加算の額は。

答 令和4年度の一人一日当たりの入院単価は約4万7千円です。そのうち、平均して2千円程度がコロナ加算となっています。

問 令和4年度末に医師8名が退職されたが、医師の適正配置についてどのように考えているか。

答 136床へ向かう過程において、医師数を減らさなければならぬと考えています。加西病院は内科、外科及び整形外科を中心とした体制のため、内科医と外科医の減少は診療に影響があり、現在募集していますが、上記の3科については十分な医師数の確保が必要と考えています。ただ、北播磨医療圏域の中で必要な医療を提供することができる状況であると認識しています。

討 論

なし

議決結果

全会一致で原案認定



第 304 回 令和 5 年 9 月定例会 議決結果一覧

賛否の分かれた議案（採決順に掲載）

○…賛成 ×…反対

議案	大前裕也	北川克則	西脇親	高橋佐代子	下江一将	橋本真由美	深田照明	高見博道	土本昌幸	田井真一	佐伯欣子	森元清蔵	森田博美	丸岡弘満	中右憲利	議決結果
議案第 43 号 加西市税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	議長	○	原案可決 (賛 8、反 6)
議案第 53 号 令和 4 年度加西市一般会計の決算認定について	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長	○	原案認定 (賛 10、反 4)
議案第 63 号 令和 5 年度加西市一般会計補正予算（第 5 号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	○	原案可決 (賛 13、反 1)
議案第 64 号 令和 5 年度加西市水道事業会計補正予算（第 2 号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	○	原案可決 (賛 13、反 1)

全会一致で可決、認定した議案

- 議案第 42 号 加西市医師確保奨学金貸与条例の制定について
- 議案第 44 号 加西市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 45 号 加西市道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 46 号 加西市保育の必要性の認定に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 48 号 和解及び損害賠償の額を定めることについて
- 議案第 49 号 令和 5 年度加西市一般会計補正予算（第 4 号）について
- 議案第 50 号 令和 5 年度加西市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）について
- 議案第 51 号 令和 5 年度加西市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）について
- 議案第 52 号 令和 5 年度加西市病院事業会計補正予算（第 1 号）について
- 議案第 54 号 令和 4 年度加西市国民健康保険特別会計の決算認定について
- 議案第 55 号 令和 4 年度加西市介護保険特別会計の決算認定について
- 議案第 56 号 令和 4 年度加西市後期高齢者医療特別会計の決算認定について
- 議案第 57 号 令和 4 年度加西市公園墓地整備事業特別会計の決算認定について
- 議案第 58 号 令和 4 年度加西市産業団地整備事業特別会計の決算認定について
- 議案第 59 号 令和 4 年度加西市水道事業会計の決算認定について
- 議案第 60 号 令和 4 年度加西市下水道事業会計の決算認定について
- 議案第 61 号 令和 4 年度加西市病院事業会計の決算認定について
- 議案第 62 号 加西市の組織及びその事務分掌に関する条例の制定について
- 委員会提出議案第 5 号 加西市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について
- 議員提出議案第 2 号 加西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

※「議案第 47 号 市道鶉野飛行場線新設工事その 12 請負契約の締結について」は撤回承認されています。



高橋 佐代子 議員
(改革未来・自民の風)



「高齢者あったか推進のつどい」について

問 9月の敬老月間に合わせ、多年にわたり地域に尽くされてきた75歳以上の高齢者を敬愛し、長寿を祝福することを目的に、各町が催し、その経費の一部を市が負担し、開催されている。市内対象者が8,000人を超え、高齢化が進む中、各町主催者の負担や参加できない方への配慮などを思う時、見直しを考えなければならない時期ではないか。

また、開催に当たって、市から各町への委託料は1万円プラス参加者一人につき1,400円だが、17

年間据え置きとなっている。物価が高騰する中、市の対応は誠意が感じられない。出席率が低い町も多く廃止でもよいのではないか。

そこで、見直し案の提案として、
①75歳から80歳に引き上げる。
②お祝い品に市長のメッセージをつけ、民生児童委員さんらに訪問をしてもらってはどうか。

答 (市長) つどいについては、私も経験していますが、自治会役員の負担は大きいと感じます。ただ、記念品を配るだけでは絆が薄れるため、催しも開催できるのが望ましいと考えます。今後、区長会と意見交換して開催方法について考えたいと思います。

また、委託料の追加の支給についても検討の必要があると考えます。

問 市民養老金の支給について、88歳の方に5千円、100歳の方に1万円となっているが、他市に比べあまりにも少ない。もう少し高額でもよいのではないか。高齢者目線の提案になるが、今後、検討をお願いしたい。

答 (市長) 近隣市に比べ、非常に少ない額となっています。近隣市を追い超す必要はないと思いますが、肩を並べるぐらいにはしたいと考えます。

■その他の質問項目

- ・シルバー人材センターについて
- ・水道料金基本料免除の延長について
- ・「5つの無料」のうち給食費について



深田 照明 議員
(清流会・かさいを育む会)



地域道路の整備推進と通学路の安全性向上をめざして

問 市道中野網引線はとても狭く、通学路としては危険である。拡幅工事の進捗状況は。

答 平成31年度に通学路の安全確保事業として国の採択を受け、事業着手しました。令和4年度に用地測量と歩道整備108メートルを実施し、今年度は用地買収の計画でしたが、国からの事業費割当てが少なく休止しています。令和8年度完成を目指して今後も国・県に対して積極的に予算要望し、早期に児童の安全確保が実現できるよう取り組みます。

問 市道中野家塚線の拡幅工事の進捗状況は。

答 市道南側の拡幅は令和3年度に完成しています。現在、市道北側の拡幅方法等を検討しており、設計が固まり次第、工事を実施します。

問 市内全域で道路の白線等の整備を急いでほしい。

答 市内全域で中央線や路肩線、横断歩道の白線が薄くなっていることは道路パトロールや地域からの要望で把握しています。白線引き直しは交通反則金充当事業として実施していますが、需要を満たしていないため、修繕予算を確保して集中的に取り組みたいと考えます。横断歩道は警察機関所管のため、すぐに対処できませんが、引き続き、学校や地元の協

力を得ながら、適正な交通環境の整備に向け、協議、要望を継続したいと考えます。

問 歩道の植え込みの草が伸び放題となっている。どのように管理しているのか。

答 年に一度、造園業者やシルバー人材センターに委託して剪定作業や草刈りを行っています。最近の気温上昇で草の伸びが早く整備が間に合わないところもあるため、追加剪定も行い交通に支障がないよう努めています。また、県道については県へ整備の推進を要望しています。

■その他の質問項目

- ・高齢者等見守り事業について
- ・空き家を活用した人口増への取り組み



田井 真一 議員
(改革未来・自民の風)

市民や医療従事者が誇れる加西病院をつくろう 市民が安全で安心して暮らせるまちをつくろう



問 新病院の基本構想等策定に係る諮問委員会の在り方と病院を核としたまちづくり構想について。

答 前回のメンバーに市民代表を加えて諮問委員会を設置します。まちづくり構想については、「メディカルタウン」を整備し、敷地内に開業医や商業施設などを誘致したいと考えており、あわせて、諮問委員会に諮ります。

問 令和6年4月から医師の時間外勤務の上限規制が適用されるが、医師の働き方改革に向けた取組と時間外勤務の状況は。

答 医師業務の一部を認定看護師など他の医療職にタスクシフト・タスクシェアしています。令和4年度・5年度の時間外勤務の状況は、来年度適用される上限内となっており、上級医が勤務内容を確認しています。

問 防犯カメラをより有効に活用するために、SDカード方式からセンター管理方式に切り替えてはどうか。

答 長期的・総合的な効率化、耐用年数なども考慮して、センター管理方式への切替えを検討します。

問 現在、片道4キロメートル（最長6.5キロメートル）以上を歩いて通学している児童がいる。子供の安全を確保する観点からもスクールバスの試験運行を行

い、小中学校再編後の本格実施に向けて問題点の抽出と課題解決を図ってはどうか。

答 スクールバスは、小中学校再編の重要な検討課題です。運行ルート、運行形態、利用者、コストなど様々な調査分析が必要となるため、本格実施に向けて試験運行を検討します。

問 田原駅西側の踏切手前で市道の歩道が途切れている。小中学校の通学路となっており、交通量も多く大変危険な状態である。速やかな改良が必要と思われるが。

答 当該踏切については、関係機関と協議を進め、令和7年度を目標に改良したいと考えています。それまでの間は、白線の引き直しやグリーンベルトの設置などにより安全確保に努めます。



中右 憲利 議員
(令和新風加西)

学校再編及び小中学校の教育について



数や小学校就学前の人数の増加等も考慮する必要があるので。

答 (教育長) 例年、小学校就学前に1～2割の増加が見込まれます。コロナ後の動向についても、地域協議会が発足して協議をする中で、ある程度見極めることができると思います。見込みと大きく異なる変化があれば、協議会で見直すことは可能と考えています。

問 加西市で行われているSTEAM教育について。

答 (教育長) 加西STEAMは、挑戦し、協働し、創造するという3C人材の育成を目指す教科横断型の探求的な取り組みです。教科学習とリンクさせて思考力や人間力を伸ばすことを目的としています。ただし、基礎学力を最優先に進めたいと考えます。

問 教育に関する教育長の考えについて。

答 (教育長) まずは子供たちが生きる力を身につける、これに尽きます。学校や園が温かい言葉で満たされ、知・徳・体の基盤を育てることを目指します。また、全国学力状況調査でも全教科で全国平均を上回る結果の実現と同時に、3C人材の育成、人間力をつけることも両輪で進めていきます。特別な支援が必要な子供たちには手厚い支援を可能にするスクールアシスタントの確保、不登校対策についても、仮想空間を利用した居場所づくりなど新たなツールを使った展開をしたいと考えています。また、子供たちの興味関心に応じて、グローバルな学び、国際的な学び、高度な科学技術等に触れる、そういう拠点・機会を提供したいと考えます。

問 学校再編の方向性確定の方法について。

答 (教育長) アンケートは、ゼロ歳児から中学3年生までの保護者に加え、中高生の意見も聞く予定です。11月のタウンミーティングで地域の方と協議しますが、やはり保護者、子供たちの意見を重視したいと考えます。統合を考える場合は、大きな枠組みで関係の学校を含む地域協議会の設置を想定してします。

問 コロナによる出産控え等があり、今後2～3年の出生

やっぱり安心して加西で暮らしたい！



西脇 親 議員
(改革未来・自民の風)

問 子ども家庭センターの設置について、組織や体制、場所はどのように考えられているのか。

答 (副市長) 全ての妊産婦・子育て世帯・子供に対する相談支援を一体的に行う機能を有する組織の設置を検討しています。安心して相談できる場所、そして安心して相談できる仕組みを提供し、市全体で子供たちの成長を見守り、応援する組織にする考えです。新たに執務室や複数の会議室を備えた附属棟として、市役所敷

地内に令和7年度中の完成を目指し、建設したいと考えています。

問 将来の農業を見据えた圃場環境について、再整備も含めて、どのような姿を描かれているのか。

答 在田南部地区では、幅広畦畔、幅広鋼板を施工しトラクタによる草刈りができる仕様、圃場の区画は1町区画を標準とし、農作業の効率化、用水のパイプライン化、排水路の暗渠化、農道横にドローン発着用の基地を整備するような形態を考えています。圃場整備事業は、地元からの申請事業で、再整備した圃場でどのような農業を目指すのかという計画が必要です。この取組に関しては、市と県が協働して地元で説明会を行いますので、声をかけていただければと考えます。

問 sora かさいの入場料について、無料の方針を貫かれるのか。応分の負担をしていただく考えはないのか。

答 (市長) 無料ということが先走り、施設自体の利便性、動線が甘くなり、非常に残念な行政運営だと思えます。

公の施設として、利用される方とされない方の公平性を図るという観点から、応分の負担をしていただくことは行政の基本だと思っています。これについては周知期間も必要となりますので、12月にも提案し、令和6年度から有料化としたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・ 包括連携協定について
- ・ 農業用水について

加西市のしっかりとした未来のために！



橋本 真由美 議員
(清流会・かさいを育む会)

防災について

問 加西市の現在の備蓄状況は。

答 アルファ化米や備蓄用パンなど約2万食、保存水5,700本、おむつや衛生用品、その他ブルーシート320枚、毛布2,860枚などを備蓄しています。

問 備蓄状況を市民へ周知するとともに、防災の知識、意識の向上が必要ではないか。

答 全戸配布のハザードマップや広報、ホームページでお知らせしていますが、効果的な周

知方法を今後も検討したいと考えます。また、地域で自主防災訓練や避難訓練が行われる際には、若い方や女性など誰もが参加できるよう自治会にお願いするなど、広く意識の向上に努めます。

問 ペットと一緒に利用できる避難所設置やアレルギー対応等配慮が必要な方への対応は。

答 現在はペットの同行避難について想定していませんが、今後、ペット避難も含めた体制づくりに加え、動物アレルギーの方に対する対応も検討します。また、その他の支援や配慮を必要とする方やご家族の意見を伺い、本当に必要とされることを把握し、効果的な防災体制の整備に努めます。

5歳児健診について

問 発達の課題に対する支援体制について、加西市の認識

は。また、今後の支援体制は。

答 支援が必要な方には専門相談を案内し、発達検査や専門医の医療相談を通して生活上の助言を行っています。子ども家庭センターの設置に合わせて関係機関の連携を密にし、安心して相談できる体制と必要な支援を受けられる体制をさらに充実させ、子供やご家族が安心して生活できるように努めます。

学校再編について

問 中高生に対するアンケートの内容は。

答 小中学校のクラス替えや中学校の部活動について質問する予定です。

■その他の質問項目

- ・ 電動キックボードについて



土本 昌幸 議員
(公明党)

物価高騰対策・支援について



問 ガソリン、電気、ガス料金をはじめ、全てと言えるほど価格が上昇しています。国はエネルギー価格の動向からガソリンや軽油、灯油類や電気、ガス等について補助を行うとのことですが、市民の生活実態には、実感が伴わないのではと考えます。

そこで水道料金など公共料金の減免についてですが、水道料金減免は実績がありますので、財源さえ準備ができれば実施は可能だと思います。素早く市民に行き届きます。現在は、水道の基本料金減免を11月まで実施されています

が、さらなる支援を検討していただきたいと考えます。

答 (市長) 多くの方の要請と受け止めており、物価高騰の支援は行わなければならないと考えています。国の動向を注視する必要がありますが、まず市独自として、水道基本料金の半年減免を1年間に延長することを考えています。また、国の追加施策が決定すれば、それに呼応した形で実施したいと思っています。

問 ポイント付与に関する事業についてお聞きします。現在、ねっぴ〜Pay事業として、9月16日から3日間で2,000円の付与上限で最大20%還元の取組を進めています。商工会議所との連携が必要ですが、市民や事業者への支援拡大について当局の見解を求めます。

答 このキャンペーンの実施については、昨年9月の運用開始から定期的に行っており、商店連合会等の商業者と協議を行いながら、年間を通じて継続的に実施する予定としています。今後の物価や消費者の動向等を注視しながら、また財政当局とも調整を図りながら、支援策について検討したいと考えています。

要望 時期的な問題もありますが、是非とも対応していただきたくお願いいたします。

■その他の質問項目

- ・教育行政について
- ・インフラの老朽化対策
- ・マイナンバーカードの現状
- ・福祉行政について



下江 一将 議員
(清流会・かさいを育む会)

安全・安心で楽しめる 加西サイサイまつりに向けて



問 祭りのメインテーマ「シン・ジダイ/シン・カサイ」は市民事務局の話合いで決められているが、市民目線の意見は反映されているのか。

答 市民事務局会議は、加西商工会議所青年部の座長以下15名で構成され、北条高校PTA、連合婦人会、シニアクラブ連合会、青年連絡会えんどれず等の代表者と、公募による多種多様な市民9名がメンバーとなっています。1月から月1回のペースで夜間帯に集まり、時代背景に合ったテーマ

やプログラムについて、各々の立場から意見を出し合って決めています。多くの市民に楽しんでいただける祭りにしたい一心で取り組み、市民参画型の祭りとして定着していると評価しています。

問 来場者がコンビニや店の駐車場に車を止め、店の利用客が駐車できない状況にあった。駐車場の数は足りていたのか。

答 サイサイまつりの一般駐車場は、昨年と同様に市役所周辺に1,200台を確保しました。また、アラジスタジアムやイオンからはシャトルバスを走らせています。各駐車場に職員を配置し、車の誘導等を実施しましたが、日暮れとともに全ての駐車場が満車となり、急遽、北条中学校の駐車場の一部をお借りしました。近隣

のスーパー等への駐車禁止の対策を行いました。店舗に関係のない方の長時間駐車について苦情もあり、駐車場不足を認識しています。来年度は一般駐車場の台数を増やしたいと考えています。

問 会場内の安全確保について。

答 祭り会場内は参加者が自由に歩き回ることができるため、安全確保のための制限をかけることは難しい状況です。今後はできるだけ通路を広く確保し、また、会場内の警備体制を強化するなど、安全・安心の会場づくりに努めていきたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・タウンミーティングについて
- ・電話録音告知メッセージについて
- ・草刈り支援について



持続可能な公共交通を目指して



北川 克則 議員
(令和新風加西)

問 コロナ禍の影響による公共交通の利用者数の動向は。

答 北条鉄道の利用者数は、コロナ禍の影響で令和2年度は大きく減少しましたが、令和4年度は過去最高の38万101人となりました。路線バスは、平成28年度以降減少傾向にあり、さらに令和2年度以降はコロナ禍の影響により減少しましたが、令和4年度の利用者はかなり戻ってきています。タクシーは、コロナ前の水準まで戻るのもう少しかかる状況です。地域主体型交通の宇仁ふれあいバスは、1日当たりの

乗車人数が令和2年度3.7人から令和4年度4.2人の微増です。

問 物価高騰の影響は。

答 神姫バスは、燃料費や人件費の高騰等により、12月より運賃改定を実施する予定です。コミュニティバスのねっぴ〜号についても、神姫バスの路線バス運賃の改定に合わせて運賃改定を行う方向です。他の公共交通機関については、物価高騰等の影響を踏まえ、運賃改定の是非について慎重に協議したいと考えます。

問 公共交通予算の動向は。

答 公共交通予算は、北条鉄道、路線バス、コミュニティバス、地域主体型交通及び公共交通会議への補助金となっています。平成30年度は約1億円、令和4

年度は1億7,700万円と大幅に増加しています。今後はさらに物価高騰や人件費の上昇により、引き続き増加傾向となると考えます。

問 地域主体型交通の推進について。

答 宇仁地区、日吉地区及び富田地区での導入における課題等を改めて整理し、今年度、導入の手引を改正する予定です。また、導入に向けて検討されている地域への支援を強化します。運行している地域では、運行して初めて見えてくる課題等が多いため、今年度は運営の手引を新たに策定し、持続可能な運営ができるよう環境整備を行います。

意見 『多様なニーズを捉える』ことが必要と考え、『加西版Maasプロジェクト』に取り組むことを提案します。



新ごみ処理施設の建設、運営経費の負担区分は



森元 清蔵 議員
(清流会・かさいを育む会)

問 加西市は、小野クリーンセンターの廃炉の負担はないということで加入し、加入後に取得した資産に対する応分の撤去費用は負担する。このことにこだわってきたと思うが。

答 資産の計上について、加西市は加東市、小野市の考え方と異なりましたが、増加した資産については、廃炉に対する費用として案分して負担することは合意しています。

問 市長は管理者会でどのように主張されたのか。

答 (市長) 加西市の考えを述べましたが、加東市との協議結果も踏まえ、新施設建設に当たって決断時期が遅れていることから、合意しました。管理者会で合意した姿を示すことが非常に重要だと考えました。

問 新施設の建設及び運営経費の負担割合は。

答 建設費、運営経費ともに均等割、人口割、実績割を3対2対5とする案で合意しました。

問 炉の本体以外の附帯施設についても同じ負担割合か。

答 新施設は、焼却やりサイクルに関する本体施設と附帯施設があり、負担割合は同じです。附帯施設としては発電施設、平時はグラウンドゴルフ場として活用される災害ごみの集積場となる芝

生広場、焼却余熱を活用した温水プールの3施設を予定しています。プールの運営経費の負担については、設備管理を含めて今後協議する必要があります。

問 廃炉の負担について伺う。合意では、小野クリーンセンターが稼働した平成元年以降における3市のごみの累積搬入実績の案分となっている。新施設の完成見込みを令和17年とすると、加西市の負担は17.7%、8,800万円となる。これまで加西市がこだわってきた内容と全く異なる決定について、市長の思いは。

答 (市長) 加西市は加入時の負担がなく、20年近く使わせていただくこととなります。加入しなかった場合と比較して30億円程度の負担減となっていますので、相応の負担をすべきと判断して合意しました。



佐伯 欣子 議員
(清流会・かさいを育む会)



校内フリースクール『あおば』の重要性

問 設置の目的や方向性は。

答 学校や児童生徒の思いを受けて、登校できない状況を可能な限り取り除き、自分のペースで登校できる場所として設置しました。別室登校と、教育センターのふれあいホームの中間的な存在と考えています。不登校支援の経験のある支援員が常駐し、自主学習の支援や相談などを行います。

問 開校までの経緯について。

答 中学校校長会で協議した後、不登校対策委員会を定期的

に開催して支援の在り方を検討しました。先進自治体を視察するとともに不登校生を対象にアンケートを実施し、これらを基に、9月4日北条中学校内に開設しました。駐車場から直接出入りできる場所に部屋を設置し、個別スペースや共有スペースなどを設けています。8月には不登校生や保護者に案内し、8月25日に市内教職員を対象に見学会を開催しました。8月28、29日に生徒、保護者対象の個別見学会、相談会を実施しています。

問 通室までの流れやフリースクールの現状について。

答 通室に当たっては、本人や保護者が教室を見学して説明を受けます。体験入室の機会も設け、それらを通して本人が希望すれば正式入室の申込みとなります。生徒たちは自分で決めた日

程で穏やかに過ごし、給食を食べることができています。ふれあいホームとの併用を希望する生徒もあります。見学希望の連絡も入っており、今後、通室する不登校生の増加も期待しています。

問 今後の展開について。

答 通室生が話し合い、アイデアを出し合って教室環境をつくり上げる中で、1人でも多くの不登校生に選ばれる場所を目指したいと考えます。今年度中に2つ目の校内フリースクールを設置する予定です。また、校内フリースクールの設置により、ふれあいホームの運営を見直し、小学校高学年の不登校生の入室も相談可能としています。小学生の不登校生の支援場所の選択肢を増やすことにもつながっています。



高見 博道 議員
(令和新風加西)



大阪・関西万博について

問 55年前の1970年、昭和45年に、人類の進歩と調和をテーマに、77の国と地域が参加して日本万国博覧会、大阪万博が開催されました。その後も何度か日本で開催されています。今回の大阪・関西万博の現時点の状況はどのようになっていますか。

答 2025年日本国際博覧会、大阪・関西万博は、2025年4月13日から10月13日までの184日間、大阪市の夢洲で開催される予定となっています。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイ

ン」とされていますが、展示内容の詳細はまだ発表されていません。各国政府、国際機関が企画するパビリオンや、8人のテーマプロデューサーが企画するパビリオンなどにおける展示、また、様々な催事を通じてSDGs達成への貢献や日本の国家戦略、Society5.0の実現を目指しているところです。現在、海外のパビリオン建設に遅れが生じている等の報道がありますが、政府が主導して準備を加速させていく考えが示されています。

問 加西市としての取組の状況は。

答 万博は加西市の魅力の世界に発信する貴重な機会と捉え、会場内外で積極的にPRを行っていきたいと考えています。具体的には、兵庫県が実施す

る市町の日、リージョナルデーにおいて、万博会場内の関西パビリオン兵庫県ゾーンや、兵庫県立美術館でVRを活用した気球搭乗体験、平和ツーリズムを促進する動画の上映などを行う予定です。また、兵庫県が進める兵庫フィールドパビリオンのSDGs体験型地域プログラムに、北条鉄道の気動車運転体験をはじめ、鶴野フィールドミュージアムガイドツアーや日本酒をテーマとした体験プログラムが認定されています。

兵庫県とも連携し、万博来場者を加西市に呼び込みたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・インボイス制度について
- ・マイナンバーカードとマイナポイントについて
- ・加西インター産業団地について



大前 裕也 議員
(加西維新の会)

議員定数の是正



問 私が所属する党では、身を切る改革を行っています。現在、議会運営委員会の委員外議員として委員会に出席していますが、議員定数の是正について委員会で提案しました。議員定数・報酬については議会として話し合いをすることになり、特別委員会を設置することが決まりました。

議員定数については、平成22年に18人から15人に削減されていますが、市民からは、議員定数を減らしてほしいという要望を聞いています。その理由は、議員の

質が低いのではないかと、また、人口減少が進んでいる中、市議会議員の数は少なくなってもいいのではないかという意見でした。今後は、特別委員会を設置して議論していくことになっています。

議会ではこのような状況となっていますが、議員定数の是正、報酬について、市長の考えをお聞かせください。

答 (市長) 私は、今、加西の未来をつくる会という政治団体をつくっています。三十数名の者が所属しており、その団体とも政策を打ち出しています。政策を打つ際には、様々なところから意見を聞いていますので、私も含めて、多くの方が聞いた意見として述べさせていただきます。

今、地方議員の成り手不足というのは大変深刻です。ただ、今の

報酬では、成り手が少ないのは当然ではないかと思います。5月の市議会議員選挙においても立候補者数が16名、ぎりぎりの状態であったことから、定数を削減して、その分を報酬に跳ね返すべきだという意見をよく聞いたところで、非常に理にかなった意見かと考えるところです。

意見 私の所属する党では、議員定数削減、また、行政の無駄を削減し、必要なところに使っていこうと取り組んでいます。私も、前に進んでいくよう努力したいと思います。

■その他の質問項目

- ・加西市職員組合について
- ・広域ごみ処理の新施設とクリーンセンターについて

加西市議会の新たな取組

1 『議員定数等調査特別委員会』を設置

平成22年9月議会において、議員定数を18名から15名に削減する条例案が可決されました。以降、13年が経過し、加西市を取り巻く状況は大きく変化しました。人口減少に加え、地方では議員の成り手不足が深刻化する一方で、多様な人材が議員となれるよう、環境整備も求められています。

加西市議会として、今後の議員定数等を検討していくために、15名の全議員で構成する『議員定数等調査特別委員会』を設置し、閉会中も継続して審議していくことに決定しました。

2 電子表決システムによる表決を採用

これまでの起立や挙手による表決以外に、電子表決システムにより表決を採ることができるようになりました。今後、議員が使用するタブレット端末において賛成あるいは反対を選択し、その結果がモニターで確認できるように準備を進めていきます。

3 議会ライブ中継の字幕配信を開始

令和5年9月定例会より、本会議及び委員会のインターネットのライブ中継において、音声認識AIを活用したリアルタイム字幕がご覧いただけるようになりました。なお、通信環境等により、字幕配信が遅れたり、字幕が切れたりする場合があります。また、AIによる音声認識技術により自動で字幕が生成されるため、誤認識・誤変換が起きることがありますので、あらかじめご了承ください。

市議会トピックス

● 議会報告「市民との意見交換会」を実施しています

月日	時間	団体名
10月30日(月) 実施済み	—	加西市いずみ会
11月15日(水)	19:30	特定非営利活動法人 加西市スポーツ協会

● 閉会中の委員会開催日程

月日	時間	会議
11月13日(月)	9:00	建設経済厚生常任委員会
11月15日(水)	10:00	総務常任委員会

● 令和5年12月 加西市議会定例会の予定

月日	時間	会議
12月1日(金)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(提案説明等)
12月5日(火)	15:00	発言通告期限(質疑・一般質問)
12月11日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(質疑・一般質問)
12月12日(火)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(一般質問)
12月13日(水)	10:00	本会議(予備日)
12月14日(木)	10:00	建設経済厚生常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
12月15日(金)	10:00	総務常任委員会
	委員会終了後	予算決算常任委員会総務分科会
12月20日(水)	10:00	予算決算常任委員会(全体会)
12月22日(金)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(委員長報告・討論・採決)

● 請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。

12月定例会での取扱いを希望される場合は、令和5年11月22日(水)17時までにご提出ください。

加西市議会ホームページのご案内

議会の日程や議案の審議結果などを掲載しています。

また、これまでに発行された議会だよりや本会議、委員会の映像、会議録も見ることができます。

ぜひ、ご活用ください。

スマートフォンでご覧いただく場合は、下記QRコードをご利用ください。

ぜひ傍聴にお越しください!



議会中継
(ライブ・録画)は
加西市議会HPへ



発行編集 加西市議会
議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾1000
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810
[email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長 下江一将
委員 高橋佐代子
委員 橋本真由美

副委員長 西脇親
委員 高見博道
委員 森元清蔵